

2017 年度総括

全国各地で自転車を活用した地域活性化への取り組みが展開されている。「サイクリストに人気の旅先ランキング（楽天トラベル）」で1位に選ばれる「しまなみ海道」には多くの自治体から注目が集まっている。一朝一夕に「サイクリストの聖地」への階段を駆け上がったわけではなく、そこには住民の地道な活動があった。人口減少、高齢化といった地方が抱える課題は「しまなみ海道」架橋エリアである島しょ部ではより深刻だ。それでも温暖な気候、恵まれた自然、農山漁場からの産物など、都会にはない魅力に溢れている。私たちの活動は自転車の旅人を地域にお迎えすることを通して、豊かな暮らしを永続的に守り、地域の自立につなごうとするものだ。改めてそんな原点を考える一年となった。

「自転車の休憩所“サイクルオアシス”」、旅人と住民をつなぐ「ガイドツアー」、そしてまちの玄関口に整備した「ゲストハウス“シクロの家”」etc. 多様な基盤整備、プログラムの一つ一つが交流人口の拡大につながっている。何よりうれしいのは、一度ならず二度、三度と訪れる人が増え、そこに笑顔があることだ。海外からの来訪者も増えた。古代から日本の交通の要衝であった瀬戸内海。人々の往来を支えてきた歴史がある。独特の多島美景観の中をゆっくりペダリングする国内外の来訪者をお迎えする準備として、今年度は新たに農山漁村商品の開発プロジェクトをスタートしている。中長期滞在客を意識して、新たに波方に「CYCLO CAFÉ & BOOK HOSTEL なみトみなと」をオープンする準備も進めている。

ここに2017年度事業についてご報告いたします。ゆっくりと、ただ着実に自分の足で進む「自転車」。まさに、地方に求められる「自立」と重なるもの。道のりはありますが、自転車の持つ力に期待し、地域の連携強化を促したいと願っています。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご批評いただきますとともに、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

目次

2017 年度事業報告	1
2017 年度決算報告	19
2018 年度事業計画	24
2018 年度活動予算	31

2017年度 事業報告書

1. まちなか移住交流推進事業

U・Iターン希望者がお試し居住できる「シクロクルー」をしくみ化。交流サイクリングツアー、空き家見学会、仕事づくり研修などを通して、まちなかへの移住・定住を支援。

① シクロクルーの受け入れ

コール相談→日帰り訪問→滞在旅行→「お試し居住」の段階的受入。
移住を検討するステージごとの支援。

② 空き家見学会の実施

「お試し居住」者希望者に今治市中心市街地エリアの物件探しの相談に応じた。

③ 交流サイクリングプログラムの企画・実施

港町として栄えた市内中心部、内海に抱かれた臨海線「はまかぜ海道」をめぐるツアーを企画・催行。



・お遍路サイクリング
4/29(土)
参加者:12名



・プチグルメ散歩
5/7(日)
参加者:34名



・四国6ヶ寺巡り
5/28(日)
参加者:10名



・サイクリングアウトドア
7/2(日)
参加者:20名



・トワイライトサイクリング
7/29(土)
参加者:16名



・シーサイドライド
8/11(日)
参加者:17名



・今治タオルツアー
9/30(日)
参加者:8名



・ネイチャー&ヨガ
10/3(日)
参加者:9名

④ 仕事づくり研修会

中心市街地エリアにある魅力的な仕事をリストアップし、仕事内容を知ってもらう体感ツアーを開催。



・吉田屋餅店
6/17(土)
参加者:4名



・中村屋かまぼこ店
6/17(土)
参加者:4名



・ナカムラコーヒー
9/19(火)
参加者:5名



・Cafe warm 魚夢
9/19(火)
参加者:5名

⑤ 移住促進活動

首都圏、関西圏で開催される移住相談会や地域活性化に資するイベントに参加。今治市の魅力をPRした。

- (1) 愛あるえひめ暮らしフェア(東京第1回) 11/12(日)
- (2) 愛あるえひめ暮らしフェア(大阪第2回) 2/18(土)



お試し居住できる拠点の活用が進んだ。個別性が高い移住・長期滞在者のニーズに対応するしくみとして、首都圏、関西圏で開催された移住相談会では評価を得た。今後は「まちなか活性化サロン ふらっと(今治市中心市街地再生協議会)」が保有する今治市中心市街地の遊休不動産情報を提供する等、居住支援の取り組みを充実させることが求められる。

2. サイクリングライフによる住民向け健康増進プログラムの開発 性別特性に配慮した住民向け健康増進プログラムの開発と実践

～成人期から老年期まで継続した切れ目ないサイクリングライフ支援拠点づくり～

2016年度からの継続事業。「メタボ」体型ではないが運動不足による身体不調に悩む女性モニターが多かったこと、運動と食事の連動を勘案した拠点整備が必要なことに問題意識を持ち、2017年度は身体(筋肉・骨・血行・肌・内臓等)と精神の安定に向き合う若年女性・働く女性を対象にしたパイロット事業を設計。同時に助成1年目のモニター住民を対象にしたフォローアップ事業を展開し、今期のパイロット事業へのリーダー参画を促しながら、住民リーダーの養成とコミュニティ形成を進めた。

① プロジェクトチームの結成と定期的な会合

協働先である愛媛県理学療法士会、愛媛県栄養士会とアウトドアフィットネスプログラム創出に向けた意見交換を行った。

② パイロット事業の実施

(1) モニター募集と決定

市内外から33名の応募があり、スポーツバイク経験(未経験者)、日常の運動頻度(低い者)を勘案し、24名(男性(10)、女性(14))を選考した。

(2) 事前評価・事後評価

「血液検査データ」の収集、気分プロフィール検査、新体力テスト等を行った。サイクリング乗車アドバイスも行い、日常的な自転車乗車を促した。

(同様の評価を(3)モニターへのプログラム提供 終了後も実施し、検証を行った。)

(3) モニターへのプログラム提供

モニターを対象に、月に1回のサイクリングツアーへの参加、月に1回の健康講座(運動・食事など)を実施した。

(4) パイロット事業報告会

パイロット事業の概要、モニターのパイロット事業参加前・参加後の変容を報告。日常的な自転車乗車の効果と継続の視点を会場と共有した。

「10年後の身体づくり」を打ち出してのパイロット事業の報告会への地域の関心が高く、アウトドアフィットネスプログラムの必要性、拠点整備の意義への共感を得ることができた。1年間の取り組みを通して、日常的な運動習慣がない住民への自転車乗車、アウトドアフィットネスプログラム提供の具体的なイメージが構築できたことが成果である。住民向け健康増進プログラムの開発に踏み出す中で、住民モニターと出会い、さらには双方向のやり取りによるつながりが構築できたことに手ごたえを感じている。引き続き、モニターの協力を得ながら、リーダー養成、コミュニティ形成につなぐことが目標である。

3. しまなみ農泊プロジェクト

これまで展開してきた国内対象の交流活動をベースに、新たなインバウンドマーケットを想定した農泊推進に取り組んだ。具体的には対象市場に台湾を想定し、多数のフォロワーやファン・顧客を持つ文化活動団体や旅行エージェントとの連携し、関係事業者・組織の顧客・メンバーのシェアを受け、彼らをインフルエンサーに対象市場に対して情報を発信する「ユーザー参加型」のマーケティング施策を展開した。

実施日	実施内容	実施区分
H29/12/1	第1回勉強会 キックオフミーティング	(1)台湾市場勉強会
H29/12月上旬	商品開発提案の募集	(2)しまなみ価値現地調査
H29/12下旬～ H30/3月下旬	商品開発の着手	(2)しまなみ価値現地調査
H30/01/24～ H30/01/26	フィールドワーク 第2回勉強会 経過報告会	(1)台湾市場勉強会 (2)しまなみ価値現地調査
H30/02/04～ H30/02/08	台湾市場現地調査	(1)台湾市場勉強会
H30/2月下旬 ～3月上旬	しまなみ農泊コンセプトの策定	(3)コンセプト等構築
H30/03/13～ 03/15	第3回勉強会 開発状況ヒアリング	(1)台湾市場勉強会 (2)しまなみ価値現地調査
H30/3月上旬 ～3月下旬	しまなみ食旅ページ（農泊紹介WEBページ）の制作	(4)試験情報発信

造成された商品の一覧

NO.	商品	担当	商品概要（黒字：開発意図、青字：/コンセプト）
1	SUP & カヤック	藤田	豊かな水産資源を育む海の環境を漁師目線で体験するプログラム 自分の目で海から陸を見たことありますか？
2	ドライフルーツ	井上	果実の旬の味を閉じ込め、通年型の多分野活用を実現する製法の開発 旬の味覚を、ギュッと凝縮して閉じ込めました。有機無農薬だからできる丸食です。
3	シルキーライムゼリー	山岡	機能性食品も兼ねた地元産柑橘の新しい活用 食べるシルク。国産ライムテイスト。
4	猪肉バーガー	西部	ジビエ活用に向けた新しい携行食の開発 里山の恵みが育んだ、贅沢な食材をいただきます。
5	粉末醤油	泉谷	醤油の食品ロスの抑制と、手軽な携行を両立させる調味料開発 作り手、使い手、双方の課題を解決しました。
6	ゆず入りじゃこ天	大岡	柑橘と水産物の組み合わせによる新商品開発 "湯がき"じゃこ天。地の魚を楽しむ新しき方法を見つけました。
7	柑橘等ジェラート	阿曾沼	規格外柑橘の有効活用 素材の味を引き立たせるのは、ジェラートです。
8	里山環境ガイド	小澤	地場産業を支える自然と歴史の環境情報の提供 古墳時代まで遡るこの場所の資源利用の歴史を未来につなぐ
9	コーヒードリップバック	村上	滞留時間の延長誘導商品（密度が低い飲食店の補充） 息を飲む絶景を前に、珈琲を飲む。
10	ブックシェルフ	村上	雨天時の滞在プログラムの拡充 画面を離れ、本に向かう贅沢な一時をどうぞ。
11	女子キャンプ	吉村	新規市場開拓商品（若年女性層の取り込み） 女子キャンスペシャルプログラム、始め口。
12	野外基地	加藤	子供世代市場の開拓 里山を遊び尽くす秘密基地、できました。
13	波方ライド	宇都宮	伝統的価値観の継承プログラム 「半島四国」という巡礼スタイルご存知ですか？波方ライドでお教えしましょう。
14	環境ライド	宇都宮	入門（導入）編の環境学習プログラム 知らなかった身近な自然に自転車で迫ります。
15	柑橘飲み比べセット	加藤	地域産品である柑橘類の啓発商品 多品種の柑橘類から、お気に入りを見つけてください。

4. フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理事業

フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」を運営。「しまなみ海道」の魅力を広く国内外にアピールするとともに、旬で最新の情報を積極的に提供し、誘客促進ツールとして活用した。

① カバー写真の更新

サイクリストの聖地としてアピール又は連想するものを使用した。

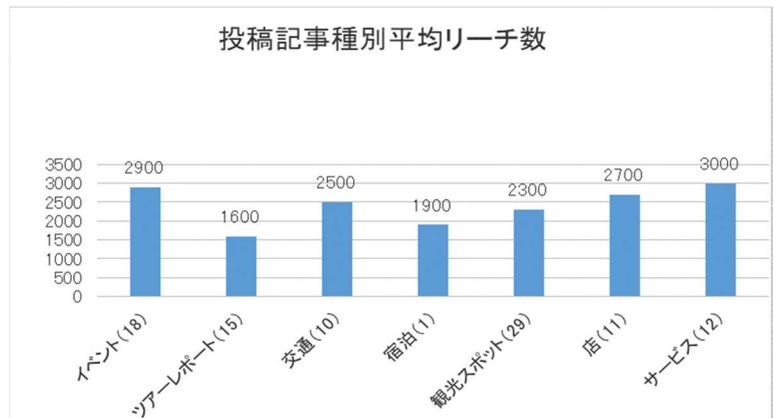


② 取材と記事投稿

現地取材を中心とした記事を投稿し、しまなみ海道とその周辺の新鮮な情報提供を行った。

(特に配慮した点)

- ・ 船、バス・空港などの交通に関する情報の定着を図るため定期的に配信した。
- ・ ターゲットをサイクリング初心者から中上級者までに設定して、幅広い記事をバランスよく投稿することを意識した。



③ 運営と分析

ファン数は増加しているが、男女の内訳は前年と同様に男性の方が高い。しかし、男性の年齢層別では変化がみられて、特に45-54歳、55-64歳が増加傾向にある。(昨年の45-54歳は26%、55-64歳は10%) 当ページは、ほぼ日本国内全域でシェアされており、確実に「しまなみ海道」が「サイクリングの聖地」としての認識が広がっていることが分かる。また、今年度は西条市、尾道市のファンが上位にあがってきており、県内および瀬戸内周辺地域のファンもさらに増加している。

今後の課題の一つとしては、新たに獲得したいファン層である10~20代の若者が興味をひく内容や女性の共感を得る記事をさらに増やしていくことが挙げられる。また、県外へのアピールを重点的に意識し、県外利用者をさらに増やしていくことも課題であると考えます。

5. 中予(ちゅうよ)及び東予(とうよ)サイクルオアシス整備事業

気軽に立ち寄って休憩ができ、地域の人々との交流が図れるサイクリストの「おもてなし」の場所として「中予(ちゅうよ)及び東予(とうよ)サイクルオアシス」を整備した。世界各地のサイクリストを迎えている「しまなみ海道」で生まれた、自転車旅を支える「サイクルオアシス」の仕組みを、近隣エリア全体に広げることで、地域における交流人口の拡大や活性化を目指すビジョンを共有した。

① 選考・現地調査

現地へ出向き、応募者への聞取調査、空間の調査を行った。



② オアシスへの器材配備

- ◆バイクスタンド : MINOURA ストレージスタンド LEVEL-170H
- ◆空気入れ : スペシャルイズド HP フロアポンプ英式アダプタ付き
- ◆工具セット : BIKE HND ツールボックス YC-728



③ オアシス運営に関する助言

器材整備等の際に、登録者へオアシス運営に関する助言や指導を行った。



6. ランニングバイクによる啓発事業

未就学児を対象に自転車の楽しさを伝える遊び場「自転車ヒロバ」をオープンした。親子三世代が集う場づくりを行い、ヘルメット着用などの安全な自転車乗車を啓発した。

① 自転車ヒロバのオープン

(1) なみかた海の交流センター (主催)

夏休みのスタートと合わせ「自転車オープン」。賑わいづくりにつながる取組に地元の評価を得た。

日時：平成 29 年 7/24 (日) ～10/2 (日) 11:00～14:00 計 10 回

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約 400 名

※「自転車ヒロバ」開催と合わせ、シーカヤック体験の企画。外部講師を招聘し、瀬戸内海の潮流を体感する「90 分体験ツアー」を提供した。

日時：平成 29 年 7/23 (土) 24 (日) 30 (土) 31 (日)

人数：延べ 25 名

(2) イオンモール今治新都市

イオンモール今治新都市オープン 30 日祭の一環である「しまなみアウトドアフェスタ」への出張。

日時：平成 29 年 5 月 28 日(土)29 日(日)

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約 80 名

(3) 新来島ドック

第11回新来島感謝祭への出張。

平成29年10月1日(土)

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約600名

② しまなみランニングバイク選手権の開催

上記ヒロバ活動を訪れる幼児の目標となる選手権を開催。水軍の海城、潮流などの瀬戸内の海を体感できるサーキットコースを整備し、開催した。県外来訪も得て、大きな集客効果を発揮した。

日時：2017.11/3(金・祝) 10:00～15:00

人数：選手(2歳～6歳の未就学児) 200名
一般来場700名



③ レインボーハイランドカップ第4戦 しまなみランニングバイク選手権2018

未就学児が自転車の楽しさを体験型で学ぶ「レインボーハイランドカップ第4戦 しまなみランニングバイク選手権2018」を開催した。大会前日には本コースを一部利用しての「自転車ヒロバ」を開催し、「松山市野外活動センター」への来場を促した。大会当日は県内外190名の選手が芝生広場に集合した。本コースは芝生広場の全面を活用し、冒険心をくすぐる特設コースを設置した。人気はみかんの障害物、水軍ののぼり旗などで、特に2歳児クラスはアトラクションを楽しむかのようにレースを満喫していた。今年度は、本コース以外にランニングバイクフリー走行ゾーンを設けた。出走時間以外に子ども達がランニングバイクに乗車できる空間を設けたことで、安全にランニングバイクで遊んでもらうことができた。例年、多くのボランティアスタッフが大会を支えているが、今年度は愛媛大学学生の協力の輪が広がった。若い力に助けられ、会場が明るい雰囲気にも包まれた。ゴール前ではスタッフが一丸となって子ども達の力走をたたえ、笑顔をつなぐことができた。保護者からはたくさんの人に支えられた大会ですばらしい思い出になったとの声が聞かれた。

自然の中で様々な体験活動ができる施設「松山市野外活動センター」の空間を活用し、三世代が交流しながら、アウトドアレジャー・スポーツに親しむ時間を共有できたことが有意義だった。春休み前の閑散期の利用に資する取り組みとして定着しつつあることを感じた。

日時：2018.2/25(日) 10:30～15:30

人数：選手(2歳～6歳の未就学児) 190名・一般来場800名
(年齢別のレース)



(ステージイベント・ブース運営)

7. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

1階の交流スペースを活用し、展示機能「自転車旅行博物館」、飲食提供「シクロカフェ」を行ってきた。また、未就学児を対象にした「自転車ヒロバ」、住民の健康増進プロジェクト「しまなみアウトドアフィットネス」等、各種プログラム提供による集客を図ってきた。一定の効果はあるものの、安定した収益源確保には至っていない。カフェ機能の強化によりサイクリング途中の休憩・ランチタイムを過ごせる居心地のいい空間とサービスの創出と合わせ、2階の一部を活用し、宿泊機能を加えた運営を行うことを目指し、準備を進めた。

8. 地域限定旅行業

地域資源の活用、住民との交流を促進するため、ガイドツアーを催行。自転車旅行者のニーズに対応するため、宿泊や交通を組み合わせた着地型旅行商品を造成し、提供した。

① 募集型旅行

(1) 日帰り旅行

1. まちなか移住交流推進事業

(2) 一泊二日

■第1回しまなみキャンプライド

平成29年7月15日（土）・16日（日） 1泊2日

20名（女性13名・男性7名/内 中学生以下2名）

■第3回シクロ女子旅

平成29年10月7日（土）・8日（日） 1泊2日

10/7：18名 10/8：19名 20名

■第6回タンデム自転車祭り

平成30年3月17日（土）・18日（日） 1泊2日

3/17：18名 3/18：19名 20名



② 受注型旅行

個人オーダーメイドツアー、社員旅行等の団体オーダーメイドツアーを企画、主催した。

○内容：しまなみでの自転車の個人旅行を個別にコーディネート

無し

○内容：自転車まちづくりの現場をナビゲートする旅行を個別にコーディネートした。

実績：平成29年7月9日（日）3名（せとうちホリックス/一般参加者）

：平成29年11月9日（木）3名（横須賀市観光企画課/行政職員）

：平成30年2月12日（月）2名（台湾淡江大学アジア研究所/研究員）

③ 委託販売

○無し

④ ガイド派遣・オペレーション

旅行会社主催のツアーへのガイド派遣。

○YMCAシンガポール

内容：しまなみ海道2泊3日のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成29年4月12日（水）・13日（木）/8名

○BOUTIQUE JTB

内容：しまなみ海道1泊2日のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成29年4月30日（日）・5月1日（月）/6名

○タイ旅行会社「Octo CyCling 社」

内容：せとかぜ海道・清流海道・さとやま輪道視察ツアーへのガイド派遣

実績：平成29年6月14日（水）・15日（木）/3名

○YMCAシンガポール

内容：しまなみ海道2泊3日のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成29年10月25日（水）・26日（木）/8名

○愛媛県社協 いきいき交流ライド2017 しまなみ海道・大島潮流体験ライド

内容：シニア対象のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成29年11月17日（金）/4名

○LDH TV ロケアテンドツアー

内容：「THE RAMPAGE」のしまなみ海道サイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成29年12月2日（土）・3日（日）/16名

○今治市老人クラブ連合会 しまなみサイクリングツアー

内容：今治市老人クラブ連合会の有志のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成30年2月6日（火）/32名

○愛媛県社協 いきいき交流ライド2017 とびしま海道ライド

内容：シニア対象のサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成30年3月10日（土）/9名

⑤自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」の受付事務。

○四国旅客鉄道株式会社 ワープ松山

内容：予約受付・JR波止浜駅オペレーション

実績：春20回・秋25回

9. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」



オープンから丸3年を迎える中、サイクリングの起終点、中継点として国内外から多くの旅行者に滞在・宿泊をいただいた。愛媛県全域に拡充が進む「サイクルオアシス」の総合拠点、今治観光・四国旅行の拠点として、観光資源の発掘を進め、旅行者への情報提供や情報発信を行った。

① 自転車旅行の拠点としての機能

自転車旅行のニーズに対応したサービスとして、自転車の室内保管スペースも兼ねる「バイク・セルフメンテナンスルーム」では各種バルブに対応した自転車ポンプ、アーレンキー、スパナ、タイヤレバーなど修理器具を備え、タイヤチューブやミニベロ用部品などの販売も展開した。自宅から輸送した自転車の受取・送付サービスや佐川急便と提携した「しまなみ海道手ぶらサイクリング」（今治―尾道間の手荷物の当日輸送サービス）、自転車・手荷物の一時預かりサービスにも対応した。ゴール後にシャワー、洗濯ができる設備は、しまなみ海道や四国遍路の自転車旅行者に好評だった。主催旅行「タンデム自転車祭り」や「シクロ女子旅」、「しまなみキャンプライド」時の宿泊施設としても活用した。



② 談話室・リビングルームでの情報提供

城下町・今治港を擁する海運の町として、独自性ある文化を育ててきた今治市中心部に点在する資源を丁寧に再発掘し、旅人の伝えるガイドンスの機能強化に取り組んだ。チェックイン時に夕食・朝食等の案内を兼ねた町なか紹介の時間を設け、随時更新した手づくりマップ「散策マップ」や店舗情報をファイリングした「Gourmet さん Book」を駆使し、来訪者の回遊を促進した。



談話室・リビングルームでは当会発行の「しまなみ島走 BOOK」や「しまなみ島走 MAP」等の情報ツール、各種パンフレット、マップ等の情報を提供。定期的に情報更新を行い、旅行者の情報収集、交換の場となった。

③ まちなか移住交流促進事業の展開

お試し居住空間の提供など（1. まちなか移住交流推進事業）参照。



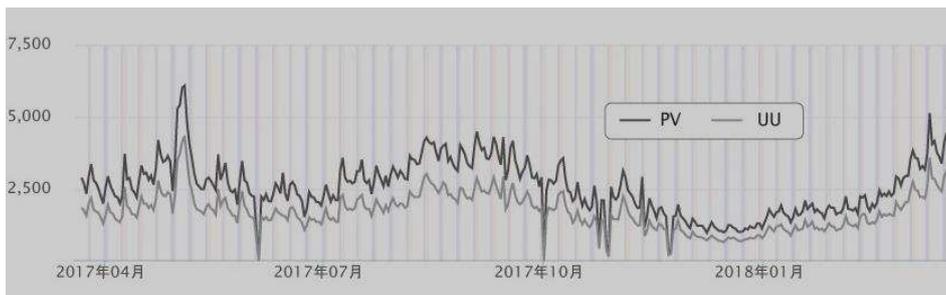
④ ホームページ・SNS 等での広報

シクロの家のプロモーションを、地域情報・イベント情報等の発信とともに行った。シクロの家 HP の特設ウェブページやスタッフブログを作成・更新し、Facebook ページや Twitter といった SNS を 3 日に 1 投稿程度の頻度更新するなど、インターネットでの広報力の向上を目指した。



シクロの家 HP は年間のページビュー数が 79 万、Twitter の年間のインプレッション数が 49 万を記録、Facebook は 3000 人程度、Twitter は 2,500 人程度の固定ファン数を獲得した。

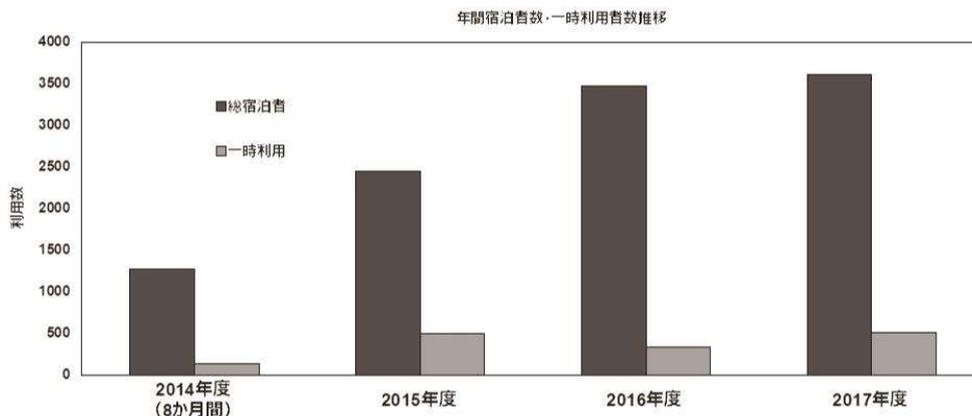
シクロの家 HP の日ごとのページビュー（PV）とユニークユーザー（UU）数

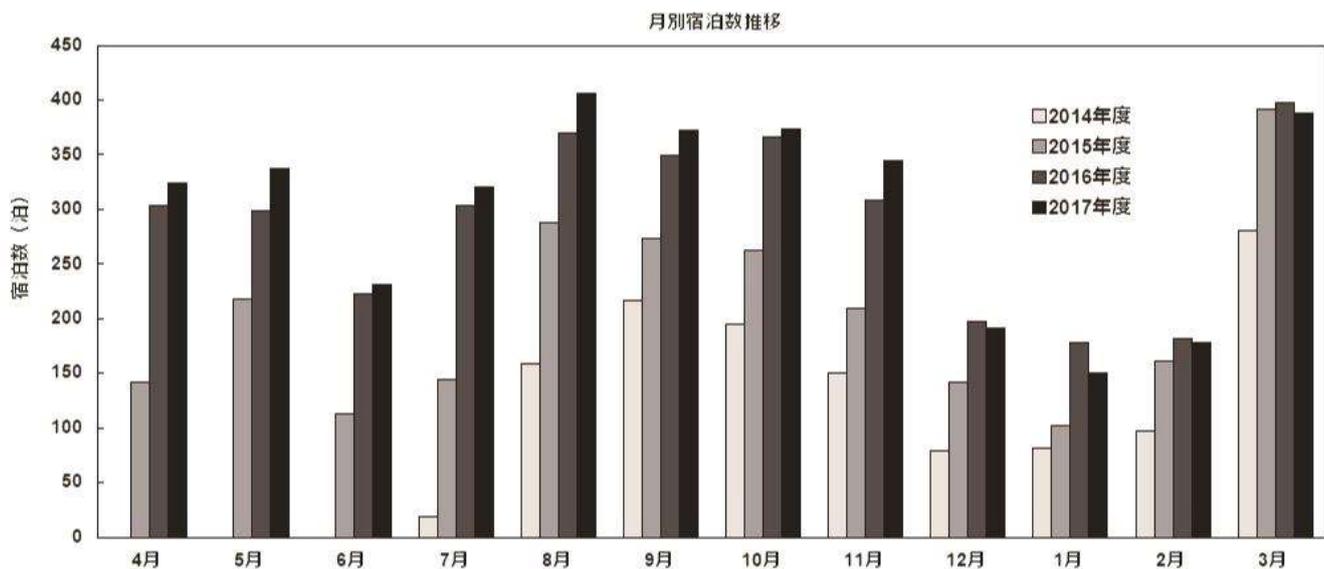


⑤ 利用者の実際

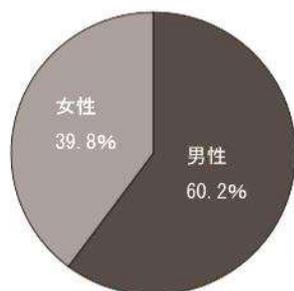
ゲストハウス宿泊者数は 3,618 名（2015 年度 2,449 名、2016 年度 3,478 名）、サイクルオアシス総合拠点としての一時利用（カフェ利用を含む）は 520 名（2015 年度 499 名、2016 年度 347 名）となった。年間の稼働率は 73.8%（前年度 71.5%）。1 日に宿泊できる人数が 13～14 名程度なので、早い段階で満室になる日が多く、満室にてお断りするケースが多数あった。来年度開業予定の波方ゲストハウス「なみとみなと」のオープンにより、より多くの宿泊者の獲得を目指したい。以下に今年度の利用者のデータを掲載する。

[年間・月別の宿泊者数]

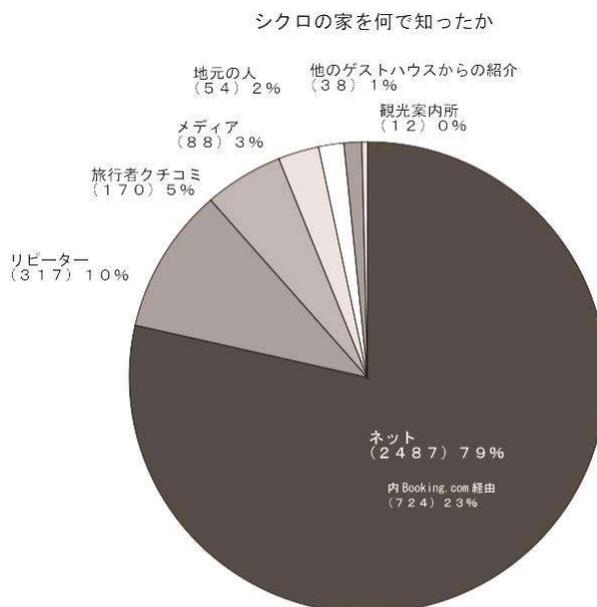
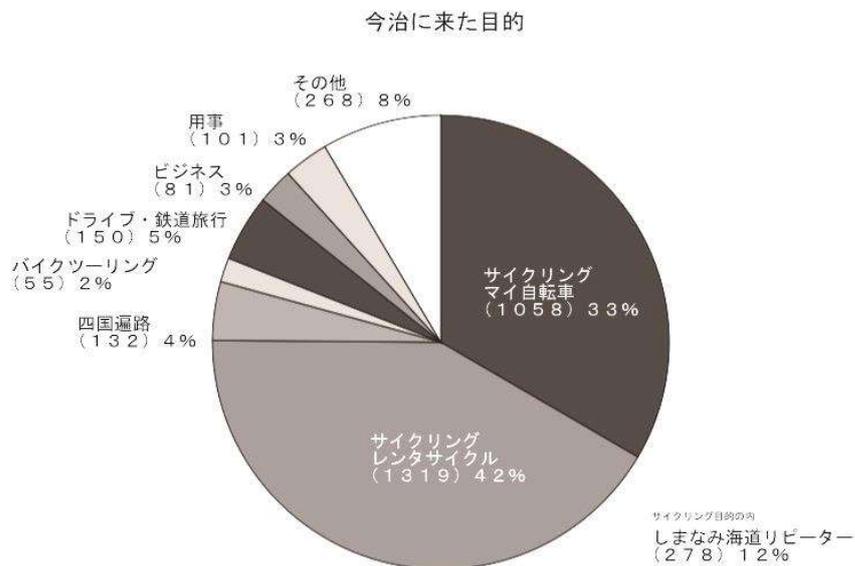




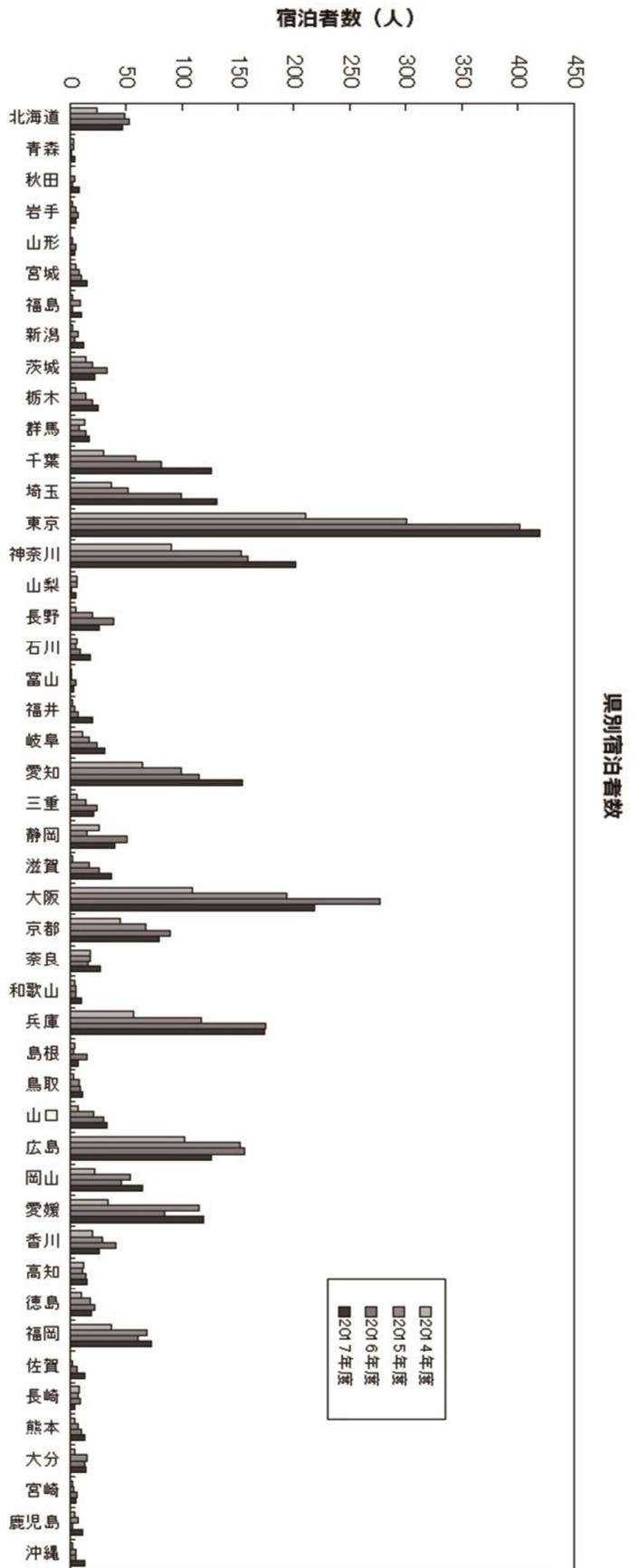
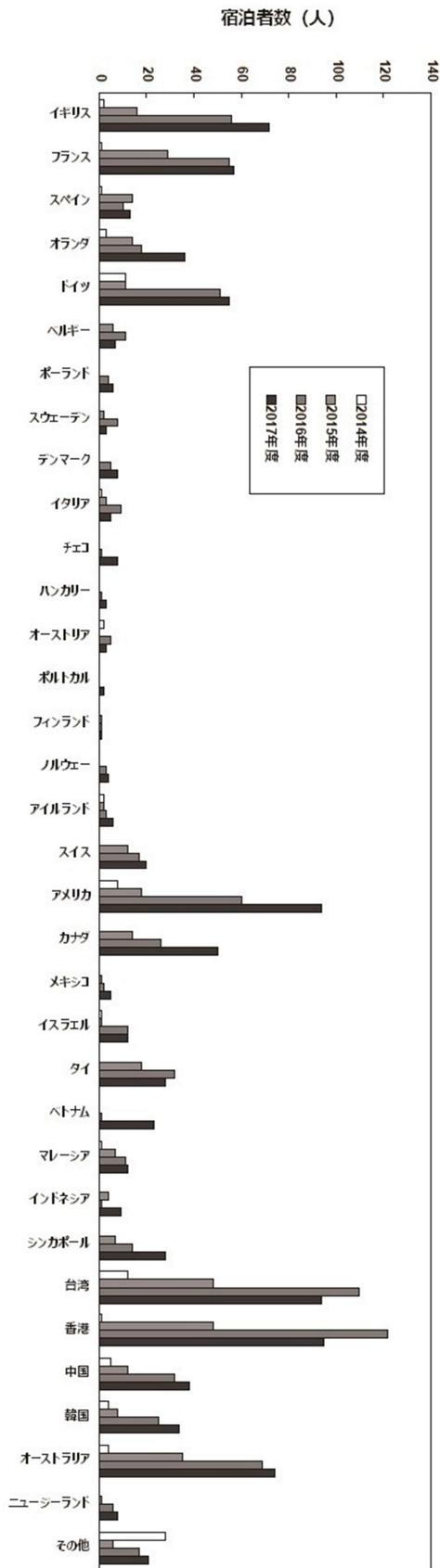
[宿泊者の男女比]



[宿泊者アンケート結果]

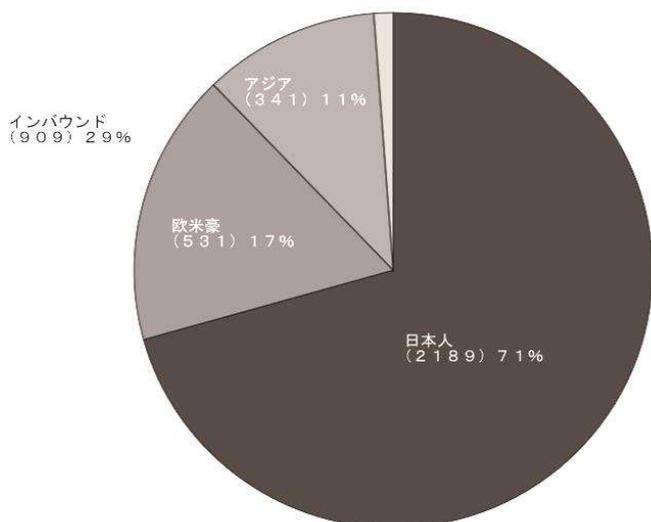


[地域別の宿泊者数]

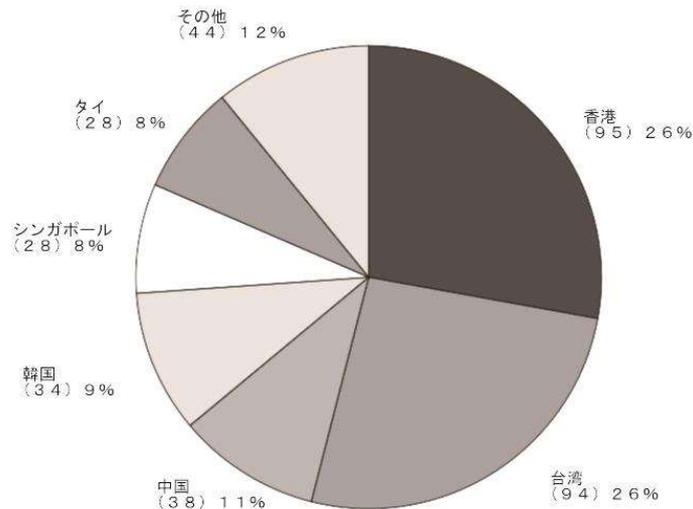


[インバウンド宿泊者の地域]

インバウンド宿泊者の割合



インバウンド宿泊者の割合 (アジア)



10. 物品販売業

① 商品販売

「ゲストハウス シクロの家」「なみかた海の交流センター シクロカフェ」等での対面販売、当会HPでのインターネット販売を継続展開した。しまなみ沿線において、委託販売等の協力店舗を掘り起こし、特にしまなみ海道エリア内の道の駅等では専用の販売ラックを設置する等、販促活動を強化した。

「シクロの家」のカウンターでは「島走 T シャツ」や「ガーゼマフラー」などの定番商品に加え、「しまなみ女子 T シャツ」や「あるあるメモ帳シリーズ」、「しまなみお便りセット」等を販売した。宿泊ではなくグッズ購入目的での来訪も多数あった。



② 商品開発

ゲストハウスやカフェ利用者との懇談の中で、しまなみの土産として訴求する可能性がある新商品を試行錯誤しながら、開発・販売した。手軽に購入できる単価（300～500円程度）の商品として、メモ帳等の文具を充実させた。単価はあがるが日常的に自分のものとして使える商品としてトラベラーズサコッシュなどのラインナップも充実させた。こだわりのショップとのコラボレーションにもチャレンジし、「しまなみ珈琲」の商品化も進めた。

11. 自転車まちづくり

①講師派遣

しまなみ自転車振興等に関することについて、依頼に基づき、講師を派遣した。

平成 29 年 5 月 22 日(月)	愛媛大学	県内の様々な生活や文化、産業等を住民や市町と県が連携協働しながら調べ、「ふるさとらしさ」や「愛媛らしさ」を発見、再確認する趣旨の授業を担当。
平成 29 年 5 月 25 日(木)	今治市文化協会	今治市文化協会総会において講話。瀬戸内の風景美を地質学の観点から紹介しながら、多くのサイクリストが魅せられる風土の魅力を共有した。
平成 29 年 5 月 28 日(日)	NPO 法人ふるさと回帰支援センター	地方への移住を考える方が一定期間、お試し居住する支援が各地で実践されている。ゲストハウスの機能の一つとして取り組むしまなみの事例を紹介、価値を共有した。
平成 29 年 6 月 15 日(木)	今治市倫理法人会	モーニングセミナーにおいて、自転車旅行の魅力を紹介。しまなみにおいて展開する自転車まちづくりに触れ、シクロツーリズムの文化の普及啓発の展望を語った。
平成 29 年 9 月 7 日 (木)	松山工業高校	今年度の愛媛県自転車交通マナー向上対策実践指定校で、サイクリングの魅力としまなみ海道における自転車まちづくりがもたらす地域の力について講話を行った。
平成 29 年 9 月 12 日 (火)	東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト	農業の発展と継続を目指し、自転車を切り口に交流人口の拡大を目指すチーム現地視察において、しまなみでの取り組みを紹介した。
平成 29 年 10 月 13 日 (金)	今治経済研究会事務局	今治経済研究会の 10 月例会での講演。しまなみにおいて展開する自転車まちづくりに触れ、シクロツーリズムの文化の普及啓発の展望を語った。
平成 29 年 11 月 10 日(金)	愛媛県・松山市共催	全国自転車活用推進フォーラム・第 6 回自転車利用環境向上会議 in 愛媛・松山～」のパネルディスカッションへの登壇。愛媛県の取り組みの一つとして、当会の活動を報告。
平成 29 年 12 月 14 日 (木)	近畿財務局大津財務事務所	地方創生セミナー「自転車を活用した観光振興のための講演会・勉強会」への登壇。住民参画型の自転車まちづくりの意義について紹介。
平成 30 年 2 月 16 日 (金)	茨城県	地方創生フォーラム in 茨城「交流の拡大による地方創生」へのパネルディスカッションへの参加。地域資源を活用した自転車まちづくりの紹介。
平成 29 年 11 月 24 日 (木)	株式会社読売広告西部	国境の島・対馬において、自転車を活用した地域活性化をめざしたイベント「国境サイクリング IN 対馬」の開催に伴い、イベントへの助言と本大会成功への提言を提出した。
平成 30 年 2 月 15 日 (木)	秋田県能代市	風景街道と道の駅の連携による地域活性化を検討する「第 12 回のしろ市まちづくりフォーラム」にて、自転車を活用した地域課題解決の取り組み事例と自転車まちづくりの可能性を発表した。
平成 30 年 2 月 16 日 (金)	宮城県仙台市	「サイクルツーリズムサイクルツーリズムとまちづくり推進フォーラム」において、しまなみ海道先行事例の紹介と、地域住民と取り組んできた事業の成果を説明した。

平成 30 年 2 月 16 日 (金)	茨城県 地域活性化センター	茨城県の平坦な地形を活かした全長 180 km に及ぶ「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用したサイクリング振興を考える「地方創生フォーラム in 茨城」への登壇。
平成 29 年 2 月 9 日 (木) 2 月 14 日 (火)	愛媛県 東予地方局 中予地方局	「東予・中予サイクルオアシス」の整備に合わせ、担い手を対象とした運営者会議へのアドバイスをを行った。サイクリストとの交流の空間づくり、サービス提供について意見交換した。
平成 29 年 2 月 19 日 (土)	愛媛県経済労働部 観光物産課	サイクリスト観光サービス向上事業研修会において、自転車によるまちづくりの活動を事例発表した。ガイドツアーやゲストハウス運営の取り組みを紹介した。
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	中国四国地方環境 事務所	bike biz を推進する環境省の取り組みとして、一般市民に自転車乗車を促すフォーラムを開催。しまなみ海道でのツーリズム推進を事例にサイクリング人口拡大へのビジョンを紹介した。
平成 29 年 3 月 28 日 (水)	静岡県文化・観光 部スポーツ局	サイクリストを受け入れる側（商店、観光施設、宿泊施設など）を対象としたフォーラムに登壇。「サイクリストの受入態勢の充実による地域経済の発展」をテーマに講演した。

②視察受入

自転車を活用した地域活性化などについて、事前予約制で個別相談、視察を受け入れた。

平成 29 年 4 月 14 日 (金)	株式会社長大	高速道路伸長等に伴い、通過型になるまちの再編を検討する中、しまなみの自転車振興を参考事例としてヒアリング。新たな交通体系の創出を含めた、官民協働の取り組みを紹介。
平成 29 年 8 月 1 日 (火)	京都府山城広域振 興局	京都府南部地域でのサイクリング振興への助言。レンタサイクルによるガイドツアーを展開するにあたって必要なガイド養成、必要な設備、装備、料金設定の考え方について助言。
平成 29 年 8 月 2 日 (水)	四国アライアンス	四国の 4 銀行が連携し、地域創生を目指す活動をする中、サイクリングによる地域活性化についての情報交換のために来訪。ゆっくり地域を巡り、地域経済活性につなぐ方向性を共有。
平成 29 年 8 月 8 日 (金)	静岡県県議会議員	東京オリンピック自転車競技を控える静岡県。「静岡県サイクルスポーツ協議会」の組織化、受入態勢指針策定等を前にしまなみの取り組みを事例として共有。
平成 29 年 8 月 12 日 (火)	仙台市	仙台市のまちづくり活動として自転車を活用する施策への参考となる活動を紹介。官民の役割分担や住民主体の活動の啓発について意見交換した。
平成 29 年 8 月 12 日 (火)	愛知大学 地域政 策学部	「サイクルツーリズム」をテーマにした卒業論文に取り組む学生への応対。事業運営等の具体的な組織運営について説明。人材育成、財政基盤等のビジョンを紹介した。
平成 29 年 9 月 5 日 (火)	大阪大学	スポーツとまちづくりを学ぶゼミ学生の卒業論文の資料収集への情報影響。スポーツツーリズムの先進事例としてしまなみの活動を紹介。
平成 29 年 9 月 6 日 (水)	静岡県議会議員事 務局	静岡県において、自転車を活用して地域活性化を目指す基盤整備をするにあたっての視察。官民の役割分担や住民主体の活動の啓発について意見交換した。
平成 29 年 9 月 7 日 (木)	松山工業高校	今年度の愛媛県自転車交通マナー向上対策実践指定校で、サイクリングの魅力としまなみ海道における自転車まちづくりがもたらす地域の力について講話を行った。

平成 29 年 11 月 8 日 (水)	宮崎県サイクリング協会	宮崎県との協働事業でサイクリングガイド養成等の事業を推進している。自転車ガイドをビジネス化している先進地を視察したいとの要請への助言。
平成 29 年 11 月 22 日 (水)	宮城県 南三陸商工会	南三陸町で来春からサイクリングツーリズム事業を始めるにあたり、自転車旅行の振興、しまなみ海道の自転車旅行者受入れの基盤整備等についてのヒアリングに対応した。
平成 29 年 12 月 5 日 (火)	法政大学社会学部 樋口明彦ゼミ/高知 大学教育学部社会 コース 地理研究室	卒業論文において「しまなみ海道の地方創生の成功理由」等について研究している学生に、当会の立上げの経緯やこれまでの活動、自転車道整備や自転車利用促進について説明を行った。
平成 29 年 12 月 9 日 (土)	神奈川県 横須賀市 観光企画課	しまなみにおける自転車を活用しての取り組みを実際にサイクリングしながら体感する目的の視察。民間団体としてツアー等の受け入れをしている実践を紹介。
平成 29 年 12 月 15 日 (金)	千葉県南房総市	房総半島を活用したサイクリング振興に取り組むにあたってのしまなみ現地視察。ゆっくり地域を巡るスタイルの定着、地域経済活性化につながるサイクリング普及を助言。
平成 29 年 12 月 18 日 (月)	NPO 法人地方再 興・個別化医療支 援	サイクルオアシス、ゲストハウス運営等の取り組みの手法を紹介。自転車まちづくりの意見交換、NPO という母体の特性をいかした民間の連携について意見交換。
平成 30 年 1 月 8 日 (火)	株式会社 九州経 済研究所企画戦略 部	鹿児島県での自転車施策の推進にあたり、大隅半島での自転車活用事業が検討される中、先進地事例の視察に訪れた調査員に、当会の取組全般について説明した。
平成 30 年 2 月 12 日 (月) 2 月 14 日(水)	淡江大学アジア事 務所	しまなみ海道における自転車文化の推進の背景や具体的方策の現場視察。台湾台北市の国家プロジェクトとしての自転車文化推進との対比を意見交換。
平成 30 年 2 月 27 日(火)	大阪商業大学	しまなみ海道の自転車まちづくりが官民協働で推進されている状況を受け、NPO としての組織運営についての調査への協力。シビックプライドの醸成、マネジメントについて経緯を紹介。
平成 30 年 3 月 1 日(木)	山形県金山町	行政課題を職員が自ら見つけ、その解決策を先進地等で事例から学び施策へいかす研修事業の受入。主にしまなみにおける自転車による健康づくりについて説明を行った。

③ 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

平成 29 年 4 月 5 日 (水) 11 月 14 日(火)	今治市中心市街地再生協議会 今治市商工振興課主催	今治市中心市街地再生基本計画第 2 期の推進に関わる検討。定例総会への参加。
平成 29 年 7 月 19 日(水) 7 月 20 日(木)	一般社団法人国土計画協会	全国で高速道路などを利活用した地域づくりに取り組み団体のネットワークを推進する会議の世話人として参加。
平成 29 年 11 月 28 日(火)	愛媛県今治土木事務所	自転車の安全走行に資する愛媛県・今治市などの施策を共有する会合への参加。今治市・上島町の自転車施策の説明と各種団体の活動紹介。
平成 29 年 12	愛媛県議会主催	サイクリングによる観光振興をテーマとした「愛媛

月 20 日 (水)		県議会「地域の声を聴く会」への参加。
平成 29 年 12 月 20 日 (水)	中国四国地方環境事務所	bikebiz の推進方策に関する意見交換会への参加。情報共有につながるプラットフォームづくりを検討。

12. 会議に関する事項について

(1) 総会

① 第8回通常総会

日時：平成29年5月6日(土)13:30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○2016年度事業報告・収支決算報告 ○2017年度事業計画・収支予算の報告

(2) 理事会

第1回 日時：平成29年5月6日(土)12:30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○2017年度事業計画・活動予算の件 ○役員・有給役員の件 ○スタッフ給与の件
○総会に付すべき事項の件

★スタッフミーティング：ゲストハウス4月の状況と5月の目標

第2回 日時：平成29年6月3日(土)12:30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○宿泊業“なみとみなど”の件 ○オアシス整備事業受託の件 ○各事業の進捗の件

★スタッフミーティング：ゲストハウス5月の状況と6月の目標

第3回 日時：平成29年8月26日(土)13:30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○サイクルオアシス整備の件 ○まちなか移住交流事業の件 ○スミセイ助成事業の件

★スタッフミーティング：ゲストハウス7・8月の状況と9月の目標

第4回 日時：平成29年12月16日(土)14:00～ 会場：今治市民活動センター 中会議室

議題：○平成29年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業の件○宿泊業“なみとみなど”の件

★スタッフミーティング：ゲストハウス9・10・11・12月以降の状況と1月の目標

第5回 日時：平成30年3月31日(土)12:30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○2018年度事業計画・活動予算の件 ○役員の件 ○車両売買契約の件

★スタッフミーティング：ゲストハウス10月以降の状況と2月の目標

特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ

〒794-0026 愛媛県今治市別宮町8丁目1番55号

TEL / FAX : 0898-33-0069

E-mail : cyclo@cyclo-shimanami.com

URL : <http://www.cyclo-shimanami.com/>